

美川村五十年誌



美川村五十年誌

揮毫 美川村長 木下久敬書



美川村庁舎



県指定名勝地 御三戸嶽



西日本随一の規模を誇る美川スキー場の全容



地元産材を駆使した新設統合校 美川小学校



新装した 美川歯科診療所

村木
杉



村花
茶



村獣
ホンドリス



村鳥
カワセミ



美川村民憲章

私たち美川村民は、縄文早期よりの歴史を誇る郷土の伝統を守り、豊かな自然を愛し、文化のかおりの高い、健康で明るい村を築くために、次のことを実践します。

一、ふるさとを愛し、自然と共生する

住みよい村をつくります。

一、若い力を育て、産業をおこし、

豊かな村をつくります。

一、健康の保持・増進をはかり、

活力にみちた村をつくります。

一、教養を高め、美しい文化の村をつくります。

一、きまわりを守り、お互いが助け合う、

明るい村をつくります。



村長 木下 久敬



教育長 仲川 達郎



収入役 土居 一太



助役 山村 利一



三役・教育長・各課長



第24代副議長 網田 章



第24代議長 窪和久義兼



議会風景



第22・23代議長
高山 猛



第21代議長
藤坂 友一



第20代議長
堀口 秀幸



第19代議長
谷原 一郎



第23代副議長
桑村 隆



第22代副議長
坂口 鶴男



第21代副議長
高山 猛



第20代副議長
西岡 勇美



第19代副議長
山口 栄幸



美川村議会議員



美川村役場職員



美川村社会福祉協議会職員

発刊のことば

昭和三〇年三月、全国的に実施された町村合併を機に、仕七川村、弘形村及び中津村の一部が合併し、美川村が誕生しました。

合併当時は、人口九、九三二名という大世帯で、豊かな自然と温かい人情のもと、心やすらぐ生活が営まれるとともに、地域産業にも生気がみなぎり、活気を呈しておりました。

以後、半世紀五〇年が経過した現在では、総人口二、四〇〇名に満たない状況となり、村の主要産業である農林業は不振、経済不況も伴って、住民生活の一大転換期を迎えているところであります。

村といたしましては、住民生活の安定を図るため、産業の振興、健康・福祉の充実、快適な生活環境の整備、また、次世代につなぐ、教育・文化の充実推進等、多岐にわたる事業を実施して参りました。

産業振興の面では、一般道路網及び作業道の整備、除間伐の促進、夏秋野菜等特産品の奨励等。健康・福祉の充実では、医療及び福祉施設等の整備充実。快適な生活環境づくりでは、上水道の整備充実や、浄化施設の奨励・ごみ等の完全処理、コミュニティ施設の整備と情報網の拡充等。また、教育の面では、近代教育の場にふさわしい施設・設備の充実等であります。

美川村は、平成一六年七月三一日をもつて、五〇年の歴史を閉じますが、これらの諸施策は、新町においても継続し、完備されるものと考えます。平成の大合併は、道路網の整備と、車社会となったことによる生活圏の拡大、過疎や不況を克服するための、強固な財政基盤づくり、更には、全ての面で、高度化・複雑化する業務に対応できる、専門職の確保等を意図したものであり、地域的には広域化しますが、住民生活の更なる安定・充実は図られるものと考えます。

五〇年の歴史を重ねてきた美川村の名は、合併と同時に、久万高原町となり、消滅しますが、過去五〇年にわたって培われた美川魂、一万二、〇〇〇年の大古から育んできた郷土愛は、私達の心から消え去ることはありません。また、美しい川の流れ、豊かな自然も失われることはありません。今後とも、あふれる人情と、地域の固い絆で、新しい、そして、活力のある、集落社会を築いていってほしいと思います。

今、一七年余の村政を振り返ってみますと「誠実と公正さ」「創意と工夫」「対話と協調」の三本柱を政治モットーに、村民主眼の行政を、誠心誠意務めてまいりましたが、まだまだ十分とは言えません。にもかかわらず長きにわたり、心からなるご支援ご協力、ご助言等を賜りましたことに、衷心より厚く御礼申し上げます。

本誌の編集に当たり、編集委員、担当職員はもとより、村内各機関関係者のご協力をいただきましたことに、深甚なる敬意と謝意を表します。終わりになりましたが、今後、当地域が、住民各位のご尽力により、ますます発展いたしますとともに、皆様のご健勝ご多幸を、心よりお祈り申し上げます。発刊のことばといたします。

平成一六年七月

美川村長 木下久敬

目次

発刊のことば

第一編 行 政 財 政

第一章 行 政	3
第一節 三 役	3
第二節 各種委員会	4
第三節 議決機関	5
第四節 行政事務機構	6
第五節 電算システムの導入	6
第六節 市町村合併	9
第七節 町村計画	15
第八節 人口動態	15
第九節 若者定住促進事業	17
一 結婚定住奨励金	17
二 新生児誕生祝金	17
三 帰村者奨励金	17
四 新規就労者奨励金	18
五 新規農林業後継就労者奨励金	18
六 農林業後継者住宅奨励金	18
七 公営住宅入居費補助金	18
第一〇節 防災対策	19
第一一節 治安と消防	19

一	警察官駐在所の沿革	19
二	防犯対策	19
三	交通安全対策	20
四	消防	20
第二節	庁舎・農村環境改善センター	22
第二章	財政	22
第一節	財政の概況	22
第二節	村有林	28
第三節	住宅	32
第二編 産業経済		
第一章	産業の動向	37
第一節	近年の移り変わり	37
第二節	農林業の概況	38
一	土地利用の状況	38
二	就業人口の動態	39
第二章	農業	40
第一節	作目別動向	40
一	米	40
二	だいこん	43
三	イチゴ	43
四	四国カルスト大川嶺牧場	45
第二節	農業振興事業	47
一	農地造成等補助事業	47

二	施設農業育成事業	48
三	夏秋野菜産地化支援事業	49
四	二一世紀型農業（モデル）産地育成事業	51
第三節	農業委員会	52
一	農業委員会の仕事	52
二	新農政の展開	53
第四節	農業生産条件整備事業	55
一	土地改良事業（継続）	55
二	農村総合整備モデル事業	57
三	緊急県単事業・農業基盤啓発推進事業（平成八年度のみ）	58
四	山村振興等農林漁業特別対策事業	59
五	耕地地すべり対策事業（継続）	60
六	農地、農業用施設災害復旧事業	61
七	干害応急対策事業	61
八	農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業（県営）（継続）	61
九	中山間地域総合整備事業（県営）（継続）	63
一〇	土地改良区（継続）	64
第五節	特産品開発	93
一	美川ふるさと市	93
二	農村活性センターみかわ	94
第六節	第三セクター	95
一	株式会社みかわ	95
第七節	農業協同組合	96
一	松山市農業協同組合となって	96
二	組 織	97
三	事 業	97
四	部門別営農活動（指導事業）	99
五	今後の動向	102

第三章	林業	103
第一節	林業の概要	103
一	山林所有の概況	103
二	流域林業活性化事業	109
第二節	森林組合	110
一	組合の歩み	110
第三節	組合の事業	113
一	造林	113
二	木材	114
三	販売事業	114
四	しいたけ	115
五	加工事業	116
六	林道及び作業路	117
七	金融事業	121
第四節	林業振興事業	122
一	森林整備計画	122
二	総合型林業構造改善事業	124
三	間伐促進強化対策事業	126
四	村単独事業	128
第四章	その他の産業	130
第一節	畜産業	130
第二節	水産業	130
第五章	商工業	133
第一節	地域の活性化を目指した商工業の役割	133
第二節	商工会のあゆみ	133

第三節 観 光	137
一 美川スキー場	137
二 白 銀 荘	138
三 美し村連邦会議(旧美しい村サミット)	138

第二編 土木・交通・国土調査

第一章 土 木

第一節 道路・橋梁・河川	143
一 国 道	143
二 県 道	144
三 村 道	146
四 橋 梁	151
五 河 川	151
第二節 林業土木	157
一 林 道	157
二 一般林道開設事業(継続)	157
三 林道舗装事業	157
四 災害林道復旧事業	158
五 県営広域基幹林道開設事業(県営森林基幹道開設事業)	158
六 県営過疎代行林道開設事業	158
第三節 国土保全	178
一 砂防事業	178
二 治山事業	188

第二章 国土調査	194
第一節 地籍調査	194
一 国土調査完了後の課題	194
二 地籍調査成果の利活用について	194
第四編 教育・文化	
第一章 教育委員会	199
第一節 教育委員会	199
第二章 学校教育	200
第一節 小学校統合	200
第二節 学校施設	200
第三節 学校給食センター	202
一 施設・設備充実の経緯	202
二 給食数・給食費	203
三 給食の内容	203
第四節 各学校の沿革	204
一 仕七川小学校	204
二 黒藤川小学校	206
三 二籠小学校	208
四 美川西小学校	210
五 美川南小学校	212
六 美川小学校	214
七 美川中学校	218
八 美川中学校若竹寮	220

第三章	社会教育	221
第一節	公民館活動	221
一	生活改善運動	223
二	夏季大学	223
三	高齢者大学	224
四	人権・同和教育	224
第二節	幼児教育	225
一	仕七川保育園(平成一六年度より幼稚園)	226
二	黒藤川保育園	227
三	美川南保育園	227
四	美川西幼稚園	228
五	美川幼稚園	228
第三節	青年教育	229
第四節	婦人教育	231
一	生活学校	231
二	ふれあい結婚式(会費制)	232
第五節	P T A	232
第六節	社会体育	233
一	夜間照明施設	233
二	愛媛スポーツ・レクリエーション祭への参加	233
三	各種スポーツ大会の開催	234
四	体育指導委員	236
五	少年スキークラブ	236
第四章	文化	237
第一節	文化財	237
第二節	文化活動	238

第五編 福祉・厚生・保健衛生

第一章 福祉・厚生……………243

第一節 国民年金制度……………243

一 拠出制国民年金制度……………243

二 無拠出制国民年金制度……………244

第二節 社会福祉事業……………247

一 民生児童委員……………247

二 生活保護……………248

三 児童手当……………249

四 乳幼児医療……………249

五 児童福祉……………250

六 母子福祉……………251

七 高齢者福祉……………251

八 身体障害者福祉……………257

九 戦争犠牲者の援護……………257

一〇 社会福祉協議会……………258

第二章 保健・衛生……………260

第一節 保健医療施設……………260

一 医療法人 みかわクリニック……………260

二 美川村歯科診療所……………260

三 民間医療施設（開業医）……………261

第二節 国民健康保険……………261

一 国民健康保険事業……………261

二 老人医療事業……………264

第三節 介護保険制度……………265

一 目的と基本理念	265
二 被保険者	265
三 受給者	265
四 介護サービス	267
五 介護保険料	268
六 保険財政	269
第四節 健康づくりの推進	270
一 検診と予防活動	270
二 母子保健	271
三 精神保健	272
四 栄養指導	273
五 福祉・保健センターみかわ	274
第五節 環境衛生	274
一 水道事業	274
二 し尿・ごみ処理事業	275
三 火葬場	275
四 犬業務	275
名簿等	
歴代村長・助役・収入役・村議会議長・副議長・議員・役場職員	279
歴代部落長・組長	284
美川村全図(集落区割図)	294
美川村内集落写真	295
美川村内各地区の情景	322
美川村史年表	324
編集委員名簿	339
あとがき	

